

園芸学科通信 第9号



校外学習(庭園鑑賞と管理実習)
吸湖山青岸寺(米原市米原)
講師 北村 正隆 氏

6月に入り、梅雨入り宣言が出たこの時期、後期選択講座として校外学習が実施された。今回は、米原市米原にある「吸湖山青岸寺」において郷土の庭園鑑賞と管理実習を学んだ。



6月8日、時折小雨が降るこの日、園芸学科一同は、研修場所である米原市米原にある吸湖山青岸寺に集合しました。

講師 北村 正隆 氏
このように由緒ある青岸寺の庭園の管理に携わることになった。北村講師から庭園管理や剪定実習についての説明や注意事項を受け、受講生を四班に分けた後、それぞれの持ち場に行き剪定等の実習を行いました。



剪定実習は、庭園内のいろいろな樹木を対象に行われました。木から背の高さ、樹木とみなが協力して名園の管理に汗を流しました。この日はテレビ局からカメラマンが来て、剪定実習や清掃作業の様子を撮影していました。

■選択講座「おいしい果樹の育て方」
病虫害駆除・対策のポイント
講師 松原 治夫 氏

六月二十日の選択講座は、「おいしい果樹の育て方」病虫害駆除と対策のポイントと題して文化産業交流会館、第2会議室と受講しました。

①アブラムシ、②ほとんどの果樹に取っつき、葉や枝に大量に発生して樹液を吸い成長を止める。病気の媒介をするので、ブラシですり取り取るか、被害部分を取り除く。③イラガ類、④梅、柿、ブルーベリーには毒があるので枝ごと取り除くこと。冬場に白っぽい楕円の球体に繭模様の繭を作るのでついでにこの繭を駆除する。



■校外学習・必修講座
人形浄瑠璃・富田人形を鑑賞
滋賀レイカディア大学米原校 草津校生

平成28年度、後期必修講座(1・2年全学科対象)であり学習領域「郷土理解」学習分野「自然・歴史・文化・芸術」の一環として校外学習に参加、受講しました。



■校外学習・必修講座
祥壽山清涼寺で坐禅と写経体験
講師 龍龍寺(大覚)住職 桂川 進隆 氏

米原校必修講座の一環として、井伊家菩提寺である祥壽山清涼寺において、法話を聞き、坐禅を組み、写経の体験を通して自己の生き方について考える機会とするために校外学習を受講しました。

